

近畿地方整備局事業評価監視委員会（令和４年度 第１回）

議事録

日時：令和４年６月７日（火） １５：００～１５：５０

場所：大阪合同庁舎第１号館 第１別館（２階） 大会議室

Web 併用会議

■委員長選出

【事務局】 ここで、昨年度をもちまして神戸大学名誉教授の喜多委員長が御退任されましたので、ここで次期委員長を選出させていただきたいと存じます。

近畿地方整備局事業評価監視委員会規則第３条第９項には、委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定めるとあります。ここでどなたか委員長につきまして御推薦いただけませんかでしょうか。よろしく願いいたします。

【委員】 推薦したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【事務局】 よろしく願いいたします。

【委員】 昨年度、委員長代理を務めていただきました京都大学の山田教授が適任じゃないかと思います。山田先生は御経歴等、それから昨年度の委員会で委員長代理をやっていることで全く適任であるからということで御推薦申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

【事務局】 御推薦の御意見、ありがとうございます。

ただいま委員より山田委員を委員長にとの御推薦がございましたけども、ほかの委員の皆様、御意見等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（首肯する委員あり）

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、山田委員もよろしいでしょうか。

【山田委員】 はい、承りました。よろしく願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、これによりまして、山田委員を本委員会の委員長とさせていただきたく存じます。よろしく願いいたします。

それから、同じく委員会規則第３条第１１項におきましては、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理するとございます。昨年度は水谷委員と山田委員に委員長代理を務めていただいておりますけども、今回、山田委員が

新しく委員長になられたということでございますので、新たに指名する必要があります。

山田委員長、お手数ですが代理者2名の御指名をお願いしたいと存じます。

【委員長】 よろしければ水谷委員と市川委員にお願いできれば幸いです。よろしくお願ひいたします。

【事務局】 ただいま山田委員長から、水谷委員と市川委員に御指名がございましたが、まず、水谷委員、いかがでしょうか。水谷委員、よろしいでしょうか。

【水谷委員】 はい。承りました。

【事務局】 ありがとうございます。

続きまして、市川委員、よろしいでしょうか。

【市川委員】 はい。承りました。

【事務局】 ありがとうございます。

■九頭竜川上流ダム再生事業

■北川直轄河川改修事業

■紀の川直轄河川改修事業

【委員長】 以上で一通り説明をいただきました。今回は一括審議3件ということで、事務局のほうからまとめて御説明いただきました。それに加えて、計算のほうに修正が必要であったということで、その補足説明もいただいたところかと思ひます。

恐らく委員の皆様もおっしゃりたいのではないかと思ひますので、代表して申し上げます。数値をベースにいろいろ評価をしているところもございますので、計算には今後も正確を期していただきますように、本当にお願ひ申し上げたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

それでは、委員の皆様から何か御意見、御質問等ございましたら頂戴したいと思ひますけれども、いかがでしょうか。一括審議ということで、あまり皆さん、御質問、御意見がないかと思ひますけれども。

それでは、私のほうから。本日、特にスライドで説明があったわけではないのですが、河川事業において、ソフト、ハード、いろいろと総合的にやっていこうという図が載っているとと思ひます。一つ一つの対策の効果の大きさの足し合わせになっていきますので、最もベストな組合せとか何か、つまり、一個一個のソフトやハードの対策のBなりCなりが

計算できて、それを足し合わせていくと、こういう組合せのときにB/Cが一番いいというような計算ができるのでしょうか。ちょっと難しいとも聞いていたりもしますが、対策を組み合わせるということなので、最も効率的な組み合わせがいいのですが、効率的な組み合わせを探すのは、なかなか難しいのでしょうか。それとも結構できるものなのでしょうか。

【事務局】 はい。すいません、私のほうから。

御指摘のとおり、治水関係事業、今、流域治水ということでいわゆる河川でやっている公共事業の部分以外にも、ほかの省庁の所管事業であるとか、自治体さんの事業であるとか、あるいは民間のほうにやっていただいている取組とか、それもハードだけではなく、ソフト、ハード両面にわたって総動員して被害を減らしていこうというような取組をしておりますが、実際、今の事業評価の手法の中で確立しているというか、我々が今使っているのが、どうしても河川でやっている公共事業の部分だけに限りますので、いわゆるB/Cであるとか定量的な評価の部分については、どうしても河川のほうを重点的にやらなければいけないということかと思っておりますが。今後ちょっとそういった、まずは効果の算出というか、効果の算定の部分については、まずいろいろと研究をして勉強していかなければいけないということで、こちらは本省のほうも含めて問題意識は持っております。

また、実際の手法が確立する前にも、今後、いろいろこういった事業評価の中では、定性的な効果とか影響なんかも含めて、極力全体像を見ていただけるような形でお示しをしていくような工夫はしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【委員長】 ありがとうございます。最適な組合せを見つけるとか、そういうことが1つの研究分野になりそうな気もいたします。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。特にないというような感じでございますけれども。大丈夫ですね。

それでは、まとめのほうに移らせていただきたいと思います。

それでは、まず、九頭竜川の上流ダム再生事業の審議結果ですけれども、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針のとおり、事業継続することが妥当と判断されるといたしますが、よろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、そのように判断させていただきたいと思います。

次に、北川直轄河川改修事業の審議結果ですけれども、こちらにつきましても、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針のとおり、事業継続とすることが妥当と判断されるといたしますけれども、よろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

【委員長】 ありがとうございます。

それから、最後に、修正がございましたけれども、紀の川直轄河川改修事業の審議結果につきましても、評価に大きな影響を及ぼしているということはございませんでしたので、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針のとおり、事業継続とすることが妥当と判断いたしますけれども、よろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、本日の審議案件は以上となりますので、皆様、今日は短い時間でしたけれども、どうもありがとうございました。

一旦、事務局のほうにマイクをお返ししたいと思います。

【事務局】 御審議いただきまして、ありがとうございました。

審議が終わりましたので、ただいまより本日の議事録を作成いたしております。確認のため少しだけお時間を頂戴できればと思います。それから、あわせまして、詳細な議事録でございますけれども、後日、確認、取りまとめの上で公表する予定としておりますので、こちらについてもよろしく願いいたします。少しばかりですが、お待ちいただければと思います。

大変お待たせいたしました。画面表示をさせていただきます。

画面のとおり出ておりますので、委員長、お手数ですが御確認をお願いいたします。

【委員長】 それでは、事業評価監視委員会審議議事録（速報版）の確認及び修正を行います。

議事録案について、確認をお願いいたします。いかがでしょうか。これは先ほどもお話しさせていただいた内容そのものでございます。いずれの案件もおおむね適切ということで、対応方針のとおり事業継続とすることが妥当と判断されるということで、よろしいでし

ようか。何か御意見、御質問等ございましたら、よろしくお願ひいたしますが。よろしいですね。

(首肯する委員あり)

【委員長】 大丈夫ですね。挙手等ないということで、ありがとうございます。

それでは、議事録につきましては、御覧のとおり確認させていただいたということで、よろしくお願ひいたします。

それでは、皆様に何か事務局のほうからお知らせすること、もしくは委員の皆様から何かございますでしょうか。

では、今日は静かな感じで終わらせていただけるようです。ありがとうございました。

よろしいですか。連絡事項もないでしょうか。

それでは、本日の審議を終了いたしまして、事務局のほうに改めてマイクをお返しいたします。

【事務局】 委員長をはじめ委員の皆様方、御審議、誠にありがとうございました。ウェブを使った形になりますので、少し画面表示等、お手間を取らせたところがございました大変申し訳ございませんでした。

以上をもちまして、令和4年度第1回近畿地方整備局事業評価監視委員会を閉会といたします。本日はどうもありがとうございました。

【議事録終わり】